

映画「LION/ライオン～25年目のただいま」上映会 @せんだいメディアテーク・スタジオシアター



ライオン 25年目のただいま

世界の各地で起きているさまざまな出来事
に関心を持ち、世界の子どもたちを支援するユ

ニセフへご協力いただけるようなイベントの一つとして、映画上映を開催しています。12月16日(土)午前と午後2回上映しました。今年話題になった実話を元にした映画でもあり、皆さまの関心も高く、満席に近い330名の方に鑑賞していただきました。

<STORY>オーストラリアで幸せに暮らす青年サルー。インドで生まれた彼は5歳の時に迷子になり、家族と生き別れたままオーストラリアへ養子に出された。成人し、自分が幸せな生活を送れば送るほど募る、インドの家族への想い。人生を取り戻し未来への一歩を踏み出すため、そして母と兄に、あの日言えなかった「ただいま」を伝えるため、彼は遂に決意する。「家を探し出すー」と。道案内はGoogle Earth! ユニセフ(国連児童基金)が全世界でその根絶に取り組む児童労働や人身売買、ストリート・チルドレンなど、子どもたちを脅かしているさまざまな問題を、5歳の少年の目を通して描いている。

この日、鑑賞いただいた皆さまから「ユニセフ募金」に15万円余のご協力があり、早速送金いたしました。ありがとうございました。世界中の子どもたちが楽しいクリスマスが過ごせますように。

第39回 ハンド・イン・ハンド(街頭募金活動)

・・・子どもたちに生きるチャンスを・・・

12月23日、仙台市青葉区一番町で募金活動を行い、小学生はじめ約70名の方々がボランティアに参加してくださいました。この日は師走にはめずらしく、気温11度と穏やかなお天気でした。

(昨年は電車が止まるほどの強風でした)

人通りも多く9万円を超える募金協力がありました。約6秒にひとりの幼い命が失われている今、多くの皆さまのご支援が力強く感じられました。



出前授業

名取市立ゆりが丘小学校 6年生 70名

12月7日、ユニセフ活動を学習する機会がありました。担当の先生から「私たちの国際協力」の導入として最適との評価をいただきました。自分たちの毎日を見つめ、ビデオ映像を通して、途上国の子どもたちの暮らしに思いを巡らすことができました。ネパールの水がめによる「水運び」の体験学習は、大学生のボランティアが担当し、有意義な時間を児童の皆さんと共有できました。

募金贈呈

12月15日、南光紫陽幼稚園の園児の皆さんが「神様のご用のために使ってください」とずっしりと重い募金33,970円を届けてくださいました。



12月22日には、聖ドミニコ学院小学校の皆さんが募金活動で協力いただいた189,766円を届けてくださいました。



12月6日、2017年度第2回理事会をフォレスト仙台の会議室で開催しました。今年度の事業経過と収支経過報告、来年度の事業計画と収支予算案を協議していただきました。多くの方々に支えられていることを実感しました。「子どもたちの命と権利を守るため」力をあわせて参りましょう。

